

2014年2月10日

お客様各位

日商エレクトロニクス株式会社  
エンジニアリング本部  
第三エンジニアリング部  
サポート&サービスグループ

### RazorSafe (RS) AOS5.2.3 リリースのご案内

拝啓

貴社益々ご清栄の段、お慶び申し上げます。

平素は格別なるご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、この度 AOS5.2.3 のリリースを弊社より開始させて頂きます事をご案内申し上げます。

敬具

- 記 -

#### ■ 対象のお客様

- AOS5.2.3 は、Mirapoint RazorSafe 700をご利用頂いている方のみを対象となります。  
※RazorSafe100, 370, 400シリーズにつきましては、対象外となります。

#### ■ AOS5.2.3の新機能

- Notification Email History  
メール通知機能として、Notification Email Historyを追加しました。  
メール通知履歴の表示が可能になりました。
- Federated Config  
ローカル上の複数のRazorSafeのメールを検索するためのネットワーク検索機能を追加しました。  
※この機能はメール検索に長時間かかることと複数のRazorSafeのメールデータを検索できるためセキュリティ的に問題があると判断し弊社の**保守サポート対象外の機能**とさせて頂きますので注意して下さい。

➤ Email Migration

メールのMigrationを行うため追加された機能です。

※この機能はメールデータの移行が伴うため弊社の**保守サポート対象外の機能**とさせていただきますので注意して下さい。

■ AOS5. 2. 3の改修内容

➤ 新たにMicrosoft Office形式の拡張機能をインデック処理するためにサーチ機能が修正されました。

➤ リモートバックアップの処理機能が改善されました。

リモートバックアップを実行した際にNAS側のファイルを全て確認し差分のファイルデータをバックアップ処理しておりましたが、新たにRezorSafe側で差分ファイルを確認することで、従来のリモートバックアップ時間の短縮が可能になりました。

➤ Fromヘッダー部分がRFCに準拠しないメールなどによりシュレッドアッププロセスがクラッシュする問題が修正されました。

➤ ファイル名のエンコード処理機能の問題などによりシュレッドアッププロセスがクラッシュする問題が修正されました。

➤ データリテンションポリシーの設定後にメール検索が出来ない問題が修正されました。データリテンションポリシーの設定で「システムハードドライブ上にメールコンテンツを保持する期間」と「アーカイブされたメッセージのインデックス保持期間」の差分（年差）が多いと検索対象のメールデータが大量に発生するためメール検索が出来ない問題が発生します。

このためデータリテンションポリシーの設定で「システムハードドライブ上にメールコンテンツを保持する期間」と「アーカイブされたメッセージのインデックス保持期間」の差分（年差）を3年以内に修正しました。

※「システムハードドライブ上にメールコンテンツを保持する期間」と

「アーカイブされたメッセージのインデックス保持期間」の差分（年差）が3年以内に修正しましたので既存の設定が3年以上の場合には、RezorSafeの空きディスク容量に注意して下さい。

※4年以上の差分が有る場合には、次ページの様にエラーが表示され保存が出来ません。

- プロキシサーバ設定
- 今すぐアップデート
- 追加機能
- ダウンロードツール
- テクニカルレポート
- メンテナンスキー
- 診断ログ配信
- システムコントロール管理
- レポートダッシュボード
- 過去
- データリテンションポリシー
- セキュアデータワイブ
- リモートバックアップ
- 今すぐバックアップ
- 前回のバックアップをリストアップします。
- テープデバイス
- Full System Backup
- フルシステムリストア

**\* Data Retention**

Forever  
 Custom

1年 0 months

5年 0 months

部門の拡張

ドメイン拡張

アドレス拡張

---

**\* 頻度**  毎日

**Index references may not be retained for more than three years after the email is deleted.**

**バージョン通知メ**  
バージョンの完了時に通知が送信される、アーカイブされたメールのアドレス。

アーカイブされたメールのみバージョン  Only purge emails that have been archived to tape (Recommended!) or Remote Backup  
 アーカイブされたメールとアーカイブされていないメールをバージョン (バージョンされたメールは復元不可能になりますので注意してください)

**\*この免責事項を承諾します**  
バージョンを有効 (リテンション期間を "永久" より短い期間に設定) にすると、メ

■ 日商ナレッジ

- RazorSafe の Disk 使用量が 90%を超えている場合に、テープ装置またはリモートバックアップサーバにバックアップが行えない場合があります。Disk 使用量につきましてご注意くださいようお願い致します。尚、Disk 使用量につきましては、管理画面の[ステータス]>[システム情報]より確認ができます。
- 管理画面のアクセスにご利用頂くブラウザは、FireFox又はGoogleChromeを推奨しております。Internet Explorerの場合、一部画面が正常に表示されない可能性がございます。

■ アップデートの前に

- アップデートの実施に際して、以下の点にご注意ください。
  1. アップデート前にメンテナンスキーの有効期限を[メンテナンス]>[メンテナンスキー]より確認して下さい。有効期限が切れている場合には、バージョンアップは出来ません。
  2. アップデートは http 経由となります。プロキシを経由する環境の場合には、プロキシサーバの設定をして下さい。
  3. アップデートに必要な通信の疎通確認をするには、次の手順を実施します。
    - ① [メンテナンス]>[今すぐアップデート] >[アップグレードのテストページ]をクリックします。

- ② Upgrade&Technical Support ヘルスチェック画面が表示されたら、テストの実行をクリックします。
  - ③ Fully & upgrade の項目を除き全ての項目が Pass であることを確認します。
  - ④ 通信の疎通確認は以上で完了です。
4. アップデートで不具合が生じた場合、**現行のバージョンにダウングレードする事ができない**ため、一旦初期化インストール CD で 5.1 をインストールした後、現行のバージョンにアップデートする必要があります。その後、アップデート前に取得したバックアップをリストアする手順となります。
  5. アップデートの実施時には、POP/IMAP フェッチャーをインアクティブに変更してから実施して下さい。アップデート後はアクティブに戻して下さい。
  6. アップデートを実施する前に、バックアップの取得を実施されることを推奨致します。
  7. アップデート進行中は、システムを再起動しないで下さい。
  8. バックアップを設定されているお客様は、スケジュールバックアップが実行されることをご確認下さい。

#### ■ AOS5. 2. 3 へのアップデート方法

- AOS5. 2. 3 へのアップデートは、バージョン 5. 2. 1 > 5. 2. 2 > 5. 2. 3 の順でアップデートして下さい。バージョンアップ方法は以下の通りです。
1. 管理画面の[メンテナンス]>[今すぐアップデート]をクリックします。
  2. 利用可能なリリースのバージョン 5. 2. 1 , 5. 2. 2 , 5. 2. 3 が表示されます。バージョン 5. 2. 1 のインストールをクリックします。
  3. OK をクリックするとバージョン 5. 2. 1 へのアップデートがスタートします。アップデートプロセス情報の画面が表示されますので、「ここ」のリンクをクリックします。
  4. システムステータスの画面に切り替わったら、プロセスに Upgrade が表示されるを確認します。
  5. プロセス Upgrade の詳細にあるアイコンをクリックし、プロセスの詳細を確認します。プロセスの詳細画面は自動的に更新されますが、アップデートが完了するとプロセスの項目が終了済みと表示されます。
  6. [ステータス]>[システム情報]より、バージョンが RazorSafe5. 2. 1 であることを確認致します。
  7. RazorSafe5. 2. 1 の表示に変わりましたら、AOS バージョン 5. 2. 1 へのアップデート作業は完了です。

8. バージョン 5.2.1 へのアップデート終了後、続いてバージョン 5.2.2 > 5.2.3 の順でアップデートを行います。
9. バージョン 5.2.3 のバージョンアップ完了後、[ステータス]>[システム情報]より、バージョンが RazorSafe5.2.3 である事を確認致します。  
アップデート前に一時的にインアクティブに変更したフェッチャーをアクティブに戻して頂いた上で、メールフェッチ、メール検索、メールのサマリーカウント、スケジュールバックアップなどの動作を確認して下さい。

The screenshot shows the Mirapoint RazorSafe web interface. The top navigation bar includes 'ホーム', 'メール表示', 'ユーザとグループ', 'ステータス', 'バックアップ', 'メンテナンス', and '環境設定'. The 'ステータス' tab is selected. On the left, there is a sidebar menu with categories like 'レポート', 'グラフ', and 'ログ'. The main content area is titled 'システムサマリー' and displays various system parameters:

ユーザ	admin
バージョン	RazorSafe 5.2.3
モデル	RS7400a
ホスト名	rs700
連続稼働時間	5:42
IP アドレス	10.9.112.236
MAC アドレス/ホスト ID	84:2b:2b:45:f1:87
メンテナンスキー/ シリアル・ナンバー	1MIRA-AFRKV-3MT2N-KPEQ2-6Y5MB-25D4D
ディスク容量	使用済み: 3.2G (1%) 空き容量: 4.0T (99%)
RAID ステータス	Optimal <a href="#">[詳細確認]</a>

## ■ その他注意事項

- SMTP プロトコルを利用してのアーカイブ及び LDAP 連携機能のご利用につきましては、弊社では保守サポートのご提供は致しかねますのでご了承の程お願い申し上げます。
- 障害が発生し、テープ装置から復旧作業を実施した場合、メール流量などお客様環境に依存しますが、インデックスの構築には長時間必要となりますので、復旧完了までに数ヶ月掛かる場合がございます。  
但し、NAS サーバから復旧した場合、NAS サーバには RazorSafe のハードディスク上の情報がそのまま保存されている状況となりますので、インデックスの再構築が必要なくなり、テープ装置に比べ復旧は早くなります。

■ **お問い合わせ窓口**

日商エレクトロニクス・プロダクト・センター

E-mail: npc@nissho-ele.co.jp

お問い合わせの受付時間帯は平日9～17時となります。

■ **改訂履歴**

2014/2/10 初版

以上